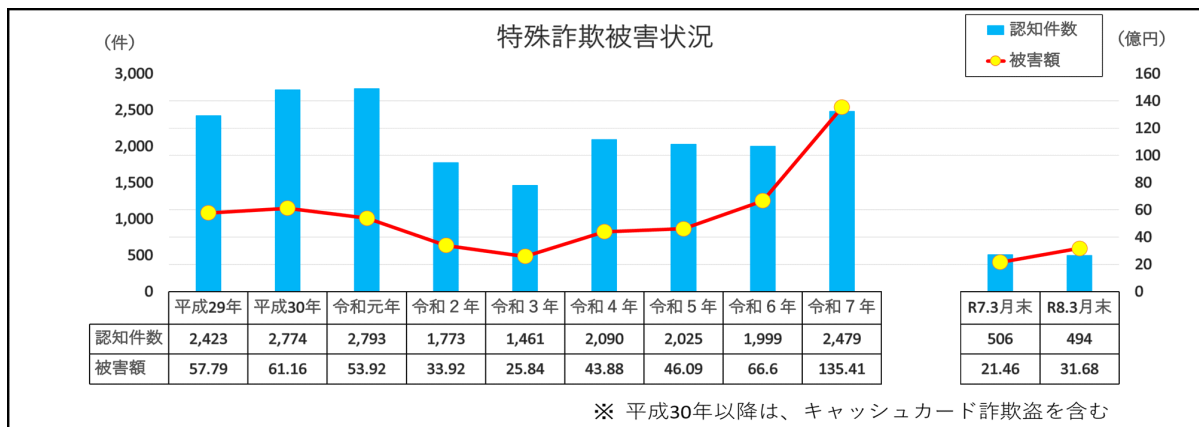


1 特殊詐欺の被害状況

令和8年3月末現在、県内の特殊詐欺認知件数は494件、前年同期比－12件、被害額は約31億6,800万円、前年同期比＋約10億2,200万円と認知件数は減少したものの被害額は増加しています。



2 ニセ警察詐欺に注意！

自宅の固定電話や携帯電話宛てに、警察官を名乗り、「あなたの口座が犯罪に使われている」「あなたにマネーロンダリングの容疑がかかっている」などと理由をつけて、「資産を調査する」「口座を確認する」などと称し、現金をだまし取ったり、振り込ませたりする被害が増加しています。警察官役の犯人は、SNSやビデオ通話に誘導して、偽の警察手帳や逮捕状を見せるケースのほか、実在する警察署等の電話番号を偽装して表示させるケースも確認されており、高齢者だけでなく、若い世代の方々も被害に遭っています。

3 電話対策の推進

特殊詐欺における犯人側の当初接触ツールは、電話によるものが大半であるほか、犯行に利用される電話番号は国際電話番号によるものが多くなっています。県警察としては、国際電話番号を遮断することが特殊詐欺被害防止対策に有効と考え、国際電話不取扱受付センターの周知及び警察庁推奨アプリの普及について、イベント、キャンペーン、SNS等各種広報媒体を活用し、あらゆる機会を通じて、県民への働き掛けを積極的に取り組んでおります。

【警察庁推奨アプリ】



ダウンロードはこちら



警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ



みんなとめよう!!国際電話詐欺#みんなとめ